

## 聖母被昇天をお祝いいたします！

今回この巻頭言を執筆するにあたり、過去の「タリタ・クム！」被昇天祭号をさかのぼってみました。去年も一昨年もロシアとウクライナの戦争について触れられていましたが、今もその戦争は続いており、さらに中東ではガザ地区の紛争も勃発して、多くの人が犠牲になっています。来年で終戦 80 年を迎える第二次世界大戦の戦争体験者は年々減り、それを語り継ぐことが難しくなっていると聞きます。「忘れられることが本当の死だ」ということを本などで見かけることがあります。過去の戦争も、今現在も遠くで起きています。戦争も心に留め、私たちシグニスはいエスの言葉に耳を傾けます。「幼子のようにいなさい」。そこに平和があると信じます。



## 日本カトリック映画賞 授賞式&上映会

第 48 回日本カトリック映画賞作品『ただいま、つなかん』（風間研一監督）の授賞式と上映会・対談が 2024 年 7 月 6 日、星陵會館ホール（東京都千代田区）にて行われました。約 300 名のお客様をお迎えし、会場は賑やかな雰囲気になりました。10 年以上にわたり、「つなかん」の菅野一代さんとそのご家族に寄り添い、「つなかん」を実家のように感じながら時の流れを優れたドキュメンタリー作品に残された風間監督に大きな拍手が送られました。



コロナ前とほぼ同様の開催となり、当日は何人の方がボランティアスタッフとしてお手伝いくださいました。協力して上映会を作り上げていくのは、私共にとりましても大変嬉しいことでした。ボランティアのおひとりに感想をお寄せいただきましたので、運営側からみた上映会の様子をお届けいたします。

その日はまだ梅雨も開けていないのに日差しが強く、立っているだけでも汗がにじみ出てくる一日でした。順次会場に集まって来たスタッフは車から賞状、トロフィー、映画プログラム、ポスター、貼り紙などその日に必要な品々を会場に運び入れていました。そして、声を掛け合いながらそれらを所定の位置に並べたり掲示したりしました。私はチケットもぎりの担当だったので、「左右に分かれて行う」、「集計しやすいように 10 枚ずつゴムで束ねる」などを相手の方といかに効率よく、かつどう丁寧に行えるかを相談しました。

会場準備やチケットもぎりの相談を行っていることと並行して、ホールでは上映作品の画像、音声の確認や授賞式のリハーサルが行われました。風間研一監督と佐竹久昌英神父の対談時の字幕スーパーの画面の位置（高さ）なども細かく確認し合っていました。メインである授賞式はお二人がお見えになっておられないので代役を立ててのリハーサルです。その時、私に、監督が受け取った賞状とトロフィーを預かる役が申し渡されました。もぎりだけと安心していただけだったので、突然の大役に緊張し始めました。監督がいただいたものを預かるということは行ったことがないので、普通に動きました。すると、「下がる時、お客様にはお尻を見せないようにね」とのアドバイスをいただきました。考えるまでもなく当然のことなのですが、さて、実際に授賞式が始まりました。舞台の袖に用意された椅子に座って受賞時のスピーチの確認をなさっておられる監督の横に立っている私は役得♥と喜びつつも、賞状とトロフィーをお預かりした後の下がり方で頭はいっぱいでした。気の利いたことも言えず、監督に申し訳ないことをしたと同時にもったいない時間を過ごしてしまいました。そして、肝心の下がり方は「お尻を見せない」を意識しすぎてカニ歩きでの情けない動きとなってしまうました。

このような私でしたが、スタッフとして関わらせていただいたことに深く感謝しております。というのも、映画上映後に会場から出て来られたお一人おひとりが作品の中から希望を見いだした輝きに満ちた表情を目の当たりに拝見することができたのですから！雷や豪雨に帰る足をとどめさせられましたが、その間、来場者の方々や作品や「つなかん」についてお話し出来たことも一生忘れられない思い出になりました。（小林りさ 高円寺教会/天国映画村）

★授賞式および対談の様子は YouTube でご覧いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=KjzXMIYR5QY>





**SAA2024** SIGNIS ASIA ASSEMBLY

**23-27 SEPTEMBER**  
**TOKYO, JAPAN**

Human Communication in the Digital World for a Culture of Peace



来月開催される、シグニスアジア会議についてご紹介します。

## アジア会議とは

アジア地域のシグニスメンバーが集まる会議で、毎年各国/地域で回り持ちで開催されています。今年は、日本・東京で行われることになりました。東京開催は2007年以来、17年ぶりです。

全体の会議日程：9/23（月祝）～27（金）

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター  
（東京都渋谷区代々木）

## 参加国

今年は、インド、スリランカ、バングラデシュ、フィリピン、ベトナム、カンボジア、東チモール、インドネシア、マレーシア、タイ、韓国、日本。全部で12ヶ国、約80名が参加します。

## テーマ

今年のテーマは、“Human Communication in the Digital World for a Culture of Peace”  
（デジタル世界で心を通わせる—平和の文化のために）です。テーマのもとになっているのは、今年の世界広報の日の教皇メッセージ「AIと心の知恵—真に人間らしいコミュニケーションのために」です。AIの進化、デジタル化が進む中で、真に人間らしく心を通わせるとはどういうことかについて、講演、パネルディスカッション、発表などが行われます。

## プログラム

初日9/24には、酒井俊弘司教（大阪高松大司教区/シグニスジャパン顧問司教）の基調講演に続き、日本から若者、女性、一般信徒が登場するパネルディスカッションが行われます。また、9/25には「教会と私たちの平和への強い願い」と題した日本からの発表があります。この他、韓国のLinus李司教（水原司教区）、フィリピンのMennen Aracid教授（Ateneo de Manila大学）の講演などがあります。どれも大変興味深い内容です。

## 参加方法

9/24（火）、25（水）は公開プログラムですので、どなたでも参加できます。

※発表はすべて英語で行われます。

下記URL/QRコードよりお申込みください。

SAA2024 日本国内向けページ

<https://signis-japan.org/saa2024tokyo/>



シグニスジャパン一同、この会議がより有意義なものとなるよう頑張って準備しております。皆様のご参加、応援をよろしくお願いいたします！

## ロゴについて

シグニスジャパンのメンバー（高原・石原）によりデザインされました。日本の伝統工芸である「水引」をシグニスカラーの赤と青であしらい、CPUのようなチップを中央に配置しました。複数本の紐が集まって、さらに重なることで、人と人とのつながりと平和の文化を表しています。また、遠目には無限大（インフィニティ）のような形にも見えるので、技術と人間の無限の可能性を感じさせます。その影にゲーミングPCを彷彿とさせるようなカラーリングを配置してみました。ここでは多様性を意味するものとして用いています。

小さなロゴデザインに、このようなたくさんの意味が込められています。人と人が結ばれる、その手触りを感じていただけたら幸いです。

## 会員・サポーター募集

会員：一緒に活動してくださる方 個人会員 6,000円/年 団体会員 12,000円/年

サポーター：経済的に支援してくださる方 1,000円/口（何口でも）

★シグニスアジア会議開催のためにも、ご支援いただければ幸いです。

<振込先>

銀行振込：三菱UFJ銀行 六本木支店（店番 045）普通 1679019 口座名：SIGNIS JAPAN 代表 土屋至

郵便振込：口座番号 00100-0-594547 口座名称 SIGNIS JAPAN 代表者 土屋至

\*他行から振込場合 銀行名 ゆうちょ銀行 店番 019 預金種目 当座 店名 〇一九店（ゼロイチキュウ店）

口座番号 0594547 口座名義 SIGNIS JAPAN 代表者 土屋至

お申し込み、お問い合わせ 女子パウロ会内 SIGNIS JAPAN

〒107-0052 東京都港区赤坂 8-12-42 / [info@signis-japan.org](mailto:info@signis-japan.org)